

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和6年3月検出分；検体採取 令和6年2月～3月)

令和6年4月19日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体4件（検体採取3月上旬）について検査を実施したところ、インフルエンザ AH3 型が2件、インフルエンザ A (N1H1) pdm09 型が1件、インフルエンザ B ビクトリア系統が1件検出された。（詳細は表1のとおり）

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	0	
	11月6日	西部	3	1	2	0	0	0	
	11月9日	東部	1	0	1	0	0	0	
	11月27日	西部	2	0	2	0	0	0	
	11月24日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月8日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月18日	西部	2	1	1	0	0	0	
	12月20日	西部	1	0	1	0	0	0	
	12月23日	西部	1	0	1	0	0	0	
2024	1月17日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月22日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月23日	西部	1	0	0	1	0	0	
	1月22日	中部	1	0	0	1	0	0	
	2月5日	西部	2	1	0	0	0	1	
	2月6日	西部	1	0	0	1	0	0	
	2月15日	西部	1	0	0	1	0	0	
	3月2日	西部	1	0	1		0	0	今回報告分
	3月4日	西部	2	1	0	1	0	0	今回報告分
3月5日	西部	1	0	1	0	0	0	今回報告分	
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			31	9	16	5	0	1	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（4月10日作成）によると、2023/24 シーズンは AH3 型が最も多く検出されており、次いで A(H1N1)pdm09 型が検出されている。また第1週以降、B ビクトリア系統の検出割合が増加している(図1)

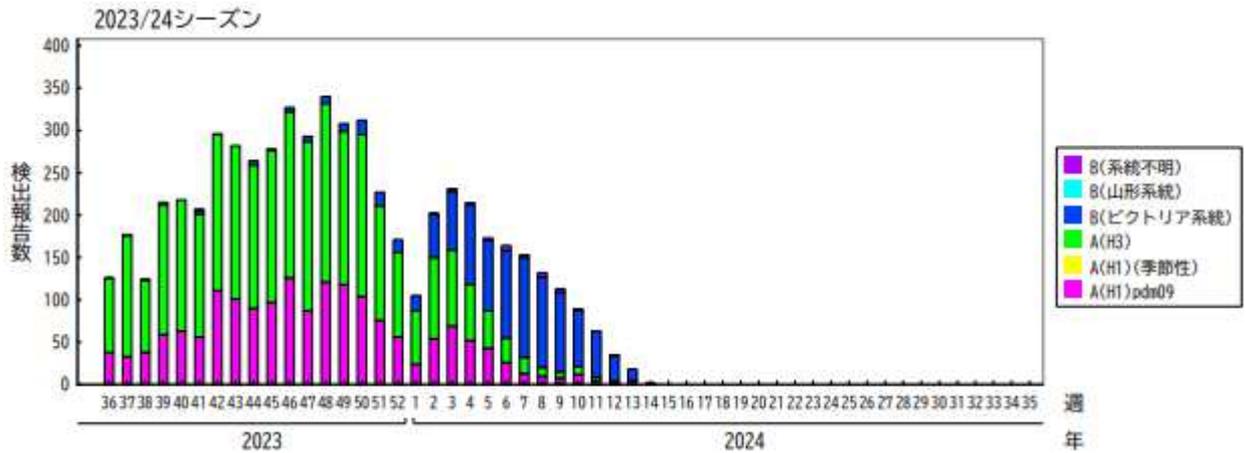


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2024年4月10日作成）

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体6件について検査を行ったところノロウイルスGⅡ型が3件、A群ロタウイルスが1件、黄色ブドウ球菌が1件、セレウス菌が1件検出された。

また、ロタウイルス感染性胃腸炎の検体1件について検査を行ったところ、A群ロタウイルスが検出された（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サボウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス	エンテロトキシンA遺伝子 (黄色ブドウ球菌)	セレウリド遺伝子 (セレウス菌)
230104	2月上旬	検出 GⅡ.4 Sydney [P16]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230105	2月上旬	検出 GⅡ.4 Sydney [P16]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230106	2月中旬	検出 GⅡ.4 Sydney [P16]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230107	2月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出	(-)
230108*	2月中旬	(-)	(-)	検出	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230109	2月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230110	2月下旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出
検出計		3件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	1件	1件

※臨床診断名はロタウイルス感染性胃腸炎

(-)：未検出